

事 務 連 絡

平成26年9月22日

各都道府県バス協会

専務理事 様

公益社団法人日本バス協会

技術安全部長 山下 博

安全に関する企業風土測定ツールの案内について（お知らせ）

平素より、当協会の業務に格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記について、国土交通省国土交通政策研究所より、別紙のとおり案内がありましたのでお知らせいたします。

本ツールは、同研究所が開発し、平成24年度から公開しているもので、運送事業者において、安全を大切にする企業風土の確立を支援するため、自社にどの程度安全を大切にする風土が確立されているかを簡易に測定することができるということです。

なお、本ツールの実施に当たっては、同研究所により実施支援が行われますので、是非ご利用ください。

詳細については、別紙お問い合わせ先にご連絡いただくか、以下のウェブページをご覧ください。

【安全に関する企業風土測定ツール】

http://www.mlit.go.jp/pri/shiryou/sonota/anzen_kigyoo2013.html

（国土交通政策研究所 Top>各種書類>その他資料>「安全に関する企業風土測定ツール(全運輸モード対応)」を掲載しました。）

担当：技術安全部（仁保）

電話：03-3216-4015



事 務 連 絡

平成 26 年 9 月 9 日

公益社団法人 日本バス協会 御中

国土交通省 国土交通政策研究所

安全に関する企業風土測定ツールの周知について（依頼）

標記ツール一式を作成いたしましたので、下記事項について貴傘下団体にご周知いただきますようお願いいたします。

記

当ツールは、平成 24 年度より自動車、海運、鉄道、航空の 4 モードを展開し、より一層の事業者の利用を通して業界全体の安全への取り組みを支援するためのものです。安全を実現するためには、安全を大切にする企業風土の確立が必要となっている中、その企業風土の確立を支援するため、自社にどの程度安全を大切にする風土が確立されているかを簡易に測定するためのツールです。

当ツールにより、運輸事業者は、自社の安全に関する取組みについて

- ・ 自社はいかなる組織風土となっているか。
- ・ 経営者層、管理職層、現業職層それぞれがどのような意識を持っているか。
- ・ 今後どのような改善活動を行うべきか。

を客観的に把握することが可能です（他社平均との比較も可能）。またアンケート集計システムはお申込頂ければ配布致しております。

当ツールは、自動車運送事業者の安全に関する取組みを支援する上で有益と考えますので、是非ご活用をお願いいたします。

なお、当ツールは、マニュアルに沿って、各事業者自らが自社でアンケート調査を実施し、集計・分析を行うことが基本となりますが、業界平均値、業種平均値を算出する観点から、昨年度に引き続きまして当研究所において 20,000 名分を上限に、当ツールの実施支援を行っております。支援をご要請される場合は、下記までご連絡下さい。提供頂いたデータについては、企業名を特定できないよう配慮したうえで、秘密を厳守し、当研究所の研究目的以外には一切使用致しません。



【参考】

- ・「安全に関する企業風土測定ツールの概要①」・・・別添 1
- ・「安全に関する企業風土測定ツールの概要②」・・・別添 2
- ・安全に関するアンケート調査票　・・・別添 3
- ・本ツールに関するマニュアルは、以下に掲載しておりますので併せてご確認ください。

<http://www.mlit.go.jp/pri/shiryou/press/zigyousya/jidosha.html>

連絡先

国土交通省 国土交通政策研究所

研究官 武田（内線 53836）

研究官 仲田（内線 53832）

電話：03-5253-8111（国土交通省代表）

03-5253-8816（国土交通政策研究所直通）

FAX：03-5253-1678

URL： <http://www.mlit.go.jp/pri/>

Mail：anzen-pri@mlit.go.jp

以上

安全に関する 企業風土測定ツール

～安全意識を全社員へ～

企業風土をアンケート調査によって「見える化」します！

アンケート調査の実施

アンケート結果の集計
(システムで自動集計！)

報告書の完成
(システムで自動出力！)

<アンケート調査の内容>

このアンケート調査は、58 の設問からなり、これらの設問を 14 の区分に分類し、5 つの領域に集計した上で、測定・評価を行います。

1	私の職場では、あいさつ、身だしなみ、マナーについて、日頃から繰り返して指導がされている
2	私の職場では、日常業務(点検・整備など)の中で気付いた事が報告され、日々の改善に繋がっている
3	私の職場では、始業や引継時に、本人の状況をふまえて、親身になった指示・指導がされている
58	私の会社では、経営者層と現場が安全に関して直接的に話し合う機会を積極的にもっている

回答方式は、基本的に以下の 5 択形式となっており、回答に応じた得点を割り振り、集計を行います。

回答	得点
非常によく当てはまる	2点
多少当てはまる	1点
どちらともいえない	0点
あまり当てはまらない	▲1点
全く当てはまらない	▲2点

※アンケート調査の実施支援について

2014 年 12 月末までの期間は、安全に関するアンケート調査の実施支援を行っています。詳細については、下記の当研究所 HP をご参照ください。

<報告書の内容(何が分かるのか)…一例>

■同業他社平均値との比較

		○:当社 :他社平均	(低い) 0.25 0.50 0.75 (高い)	当社	他社平均	差異
I. トップの価値観と行動の充実と浸透				0.32	0.31	0.01
1. 経営理念(トップの価値観)				0.38	0.30	0.08
問49 経営姿勢への共感				0.32	0.01	0.31
50 コンプライアンスの浸透				0.56	0.53	0.03
56 経営執行の監視				0.25	0.35	-0.10
2. マネジメントシステム				0.16	0.27	-0.11
53 継続的改善				0.06	0.38	-0.32
54 管理者育成(人材育成)				-0.14	0.12	-0.26
55 現場情報の活用				0.56	0.32	0.24

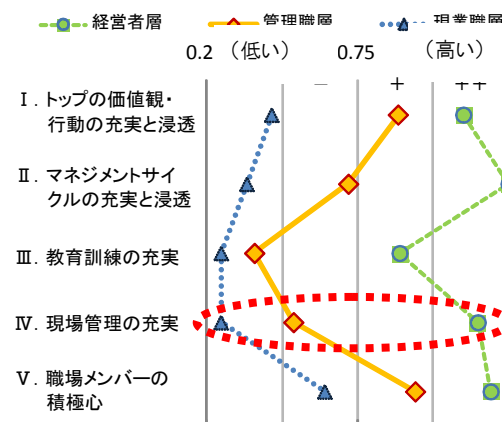
※他社平均は、各4モード(鉄道、自動車、海運、航空)にそれぞれご用意しています

○設問ごとに数値化します

○同業他社平均値との比較が可能

→自社の強み、弱みが客観的に分かります！

■階層別安全意識のギャップ



○階層別の意識
ギャップが鮮明に！
○他に部門別、職種別
など、分析軸は
お好みで設定が可能

「お問い合わせ先」

国土交通省 国土交通政策研究所

電話 : 03-5253-8816 (直通)

URL : <http://www.mlit.go.jp/pri/>

研究官 武田、仲田

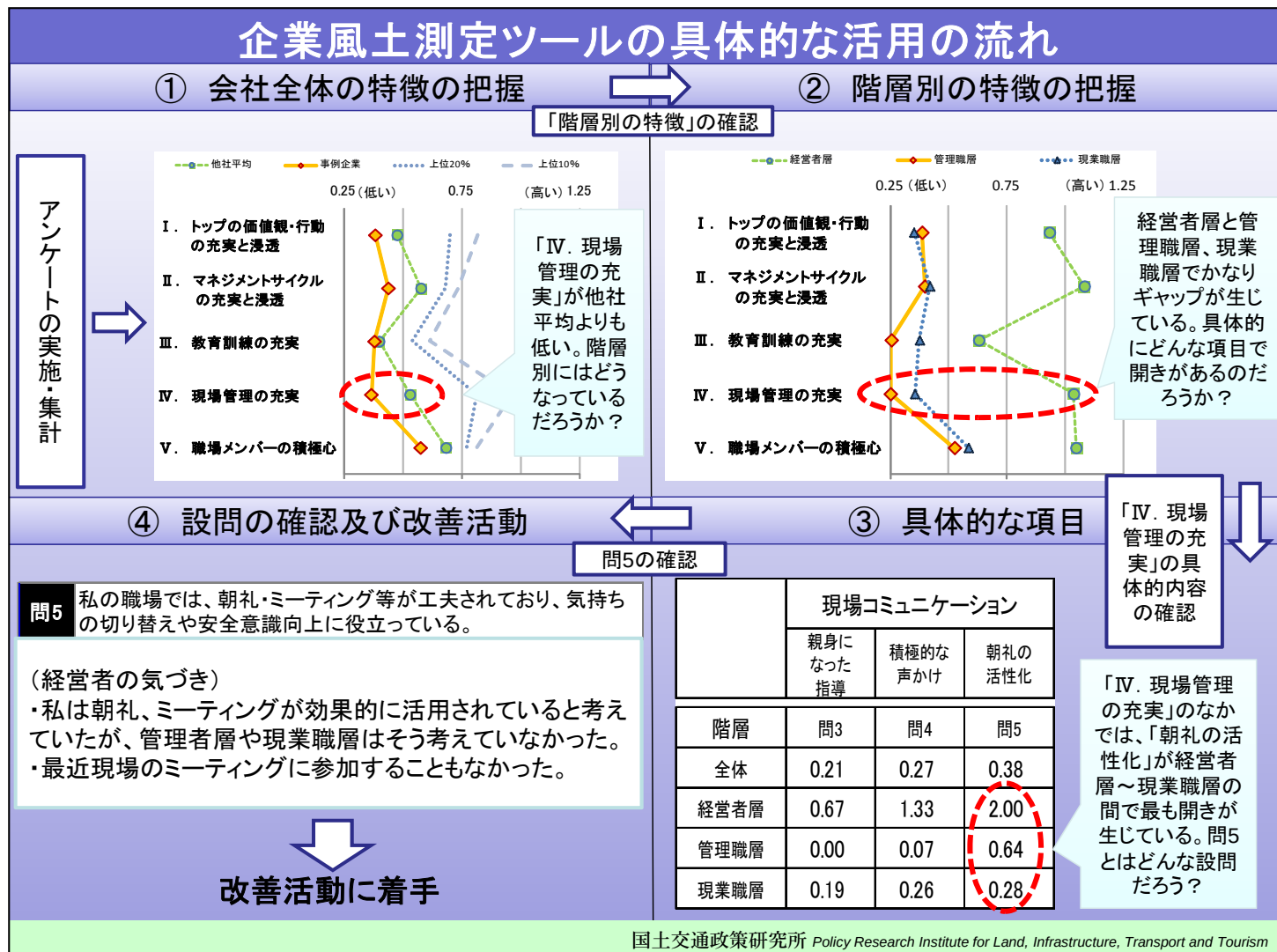
FAX : 03-5253-1678

Mail : anzen-pri@mlit.go.jp



国土交通省 国土交通政策研究所

＜企業風土測定ツールの活用例＞



国土交通政策研究所 Policy Research Institute for Land, Infrastructure, Transport and Tourism

＜利用事業者様の声＞

- ・階層別に見える化できたことで、どの階層にどんな課題があるのか、明確になった点が良かった。また職種別の分析を通じて、それぞれが抱える課題を浮き彫りにすることができた。
- ・当初から課題だと感じていた安全に対する意識を、数値ではっきり見える化することができた。
- ・ヒューマンエラーを防ぐにはコミュニケーションを通して、どれだけ安全への意識を高められるかがポイントだと思っているが、その意識を見える化できるため、社員に問題提起がしやすい。
- ・今後も継続して当データの取得を行い、改善が進んでいるのかどうかチェックしていきたい。

＜申込実績（H26.8.31 現在）＞

		1,000人未満	1,000人超	合計
鉄道	社数	15社	1社	16社
	人数	2,014名	5,266名	7,280名
自動車	社数	75社	13社	88社
	人数	19,421名	30,429名	49,850名
海運	社数	23社	0社	23社
	人数	2,508名	0名	2,508名
航空	社数	18社	0社	18社
	人数	3,210名	0名	3,210名
合計	社数	131社	14社	145社
	人数	27,153名	35,695名	62,848名



安全に関する企業風土測定ツール

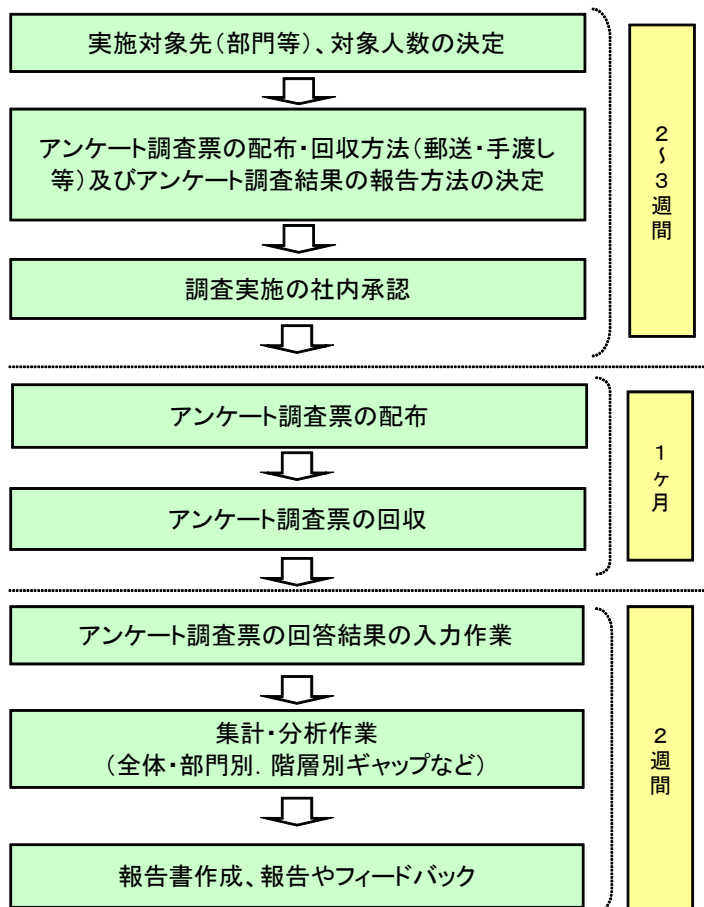
I. 背景・目的

トップの方針を現場の末端まで浸透させることができ初めて安全風土、安全文化を構築することができます。安全管理規定の作成をはじめ、手順書やマニュアルを取り決めて、それを伝えるだけでは、組織に共通の思考は形成されず、マニュアルも形骸化しがちです。しかし、これまでは安全風土のレベルを測定できるツールがなく、自社の現状を客観的に把握することは困難だったため、改善活動も雲を掴むような大変進めにくいものでした。

そこで開発されたのが今回の「企業風土測定ツール(アンケート調査)」です。当アンケート調査により、経営者層の安全に対する考え方や取り組みが、経営者層から現場の従業員に至るまでどの程度浸透しているか等を運輸事業者様自らが測り、課題は何かを「目に見える形」で把握することで、自社の安全風土のレベルを客観的に測定することが可能となるため、改善活動をより強力に推し進めていくことができます。

II. アンケート調査の流れ

アンケート調査を実施する際には、アンケート調査を実施する対象先、範囲などを決めて、調査票の配布、収集方法などを事前に決定しておくことが必要となります。以下に調査の実施フローの一例を示します。



III. アンケート調査の設問及び採点方法

このアンケート調査は、58 の設問からなり、これらの設問を 14 の区分に分類し、5 つの領域に集計した上で、測定・評価を行います。

1	私の職場では、あいさつ、身だしなみ、マナーについて、日頃から繰り返して指導がされている
2	私の職場では、日常業務(点検・整備など)の中で気付いた事が報告され、日々の改善に繋がっている
3	私の職場では、始業や引継時に、本人の状況をふまえて、親身になった指示・指導がされている
:	
58	私の会社では、経営者層と現場が安全に関して直接的に話し合う機会を積極的にもっている

回答方式は、基本的に以下の 5 択形式となっており、回答に応じた得点を割り振り、集計を行います。

回答	得点
非常によく当てはまる	2点
多少当てはまる	1点
どちらともいえない	0点
あまり当てはまらない	▲1点
全く当てはまらない	▲2点

※アンケート調査の実施支援について

平成 26 年 12 月までの期間は、安全に関するアンケート調査の実施支援を行っています。

実施支援の件数は 20,000 名までと限りがございますので、お早めにお申込ください。詳細については、当研究所 HP(「企業風土 自動車版」でも検索可能)をご参照ください。



安全に関する企業風土測定ツール

IV. アンケート調査結果及び特徴

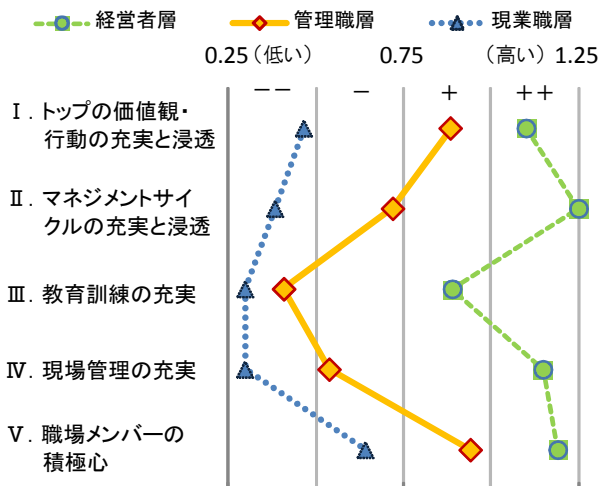
■同業他社平均値との比較

○:当社 :他社平均		(低い)		(高い)	当社	他社平均	差異
		0.25	0.50	0.75			
I. トップの価値観と行動の充実と浸透							
1. 経営理念(トップの価値観)							
問49 経営姿勢への共感	●				0.32	0.31	0.01
50 コンプライアンスの浸透	●				0.38	0.30	0.08
56 経営執行の監視	●				0.32	0.01	0.31
2. マネジメントシステム							
53 継続的改善	●				0.56	0.53	0.03
54 管理者育成(人材育成)	●				0.25	0.35	-0.10
55 現場情報の活用	●				0.16	0.27	-0.11
					0.06	0.38	-0.32
					-0.14	0.12	-0.26
					0.56	0.32	0.24

※他社平均は、自動車運送事業者42社16,176名の平均値です

項目ごとに数値化し、かつ同業他社平均値とも比較できるため、自社の強み、弱みを客観的に捉えることができます。また前回実施結果との比較も可能です。

■階層別安全意識のギャップ



階層別に分析することで、階層間の意識ギャップを把握することができます。

■営業所別、職種別などその他の分析軸

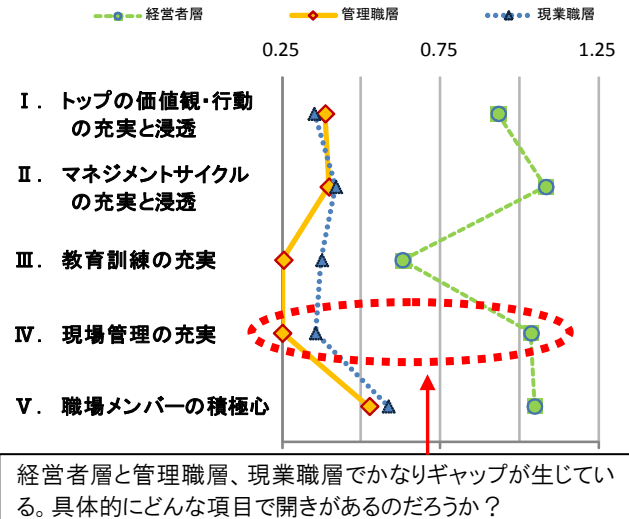
	日常管理の充実		
	基本行動の指導	日々の報告と改善活動	親身になった指導
	問1	問2	問3
全体	0.61	0.07	0.47
A営業所	0.64	0.23	0.79
B営業所	0.49	0.17	0.92
C営業所	0.59	0.13	0.54
D営業所	0.61	-0.13	0.16

営業所別、職種別、部門別など分析軸は自由にカスタマイズが可能です。

V. ツールを活用した企業風土測定の実用例

1. 会社全体の特徴の把握 (他社平均との比較)

2. 階層別の特徴の把握



3. 具体的な項目の確認

	現場コミュニケーション		
	親身になった指導	積極的な声かけ	朝礼の活性化
階層	問3	問4	問5
全体	0.21	0.27	0.38
経営者層	0.67	1.33	2.00
管理職層	0.00	0.07	0.64
現場職層	0.19	0.26	0.28

「IV. 現場管理の充実」のなかでは、「朝礼の活性化」が経営者層～現場職層の間で最も開きが生じている。問5とはどんな設問だろうか？

4. 設問の確認及び改善活動

問5 私の職場では、朝礼・ミーティング等が工夫されており、気持ちの切り替えや安全意識向上に役立っている。

(経営者の気づき)
 ・朝礼、ミーティングが効果的に活用されていると考えていたが、管理者層や現場職層はそう考えていなかった。
 ・最近現場のミーティングに参加することもなかった。
⇒改善活動へ着手

「お問い合わせ先」

国土交通省 国土交通政策研究所(中央合同庁舎2号館15階)
 研究官 武田、仲田
 電話 : 03-5253-8816 (国土交通政策研究所直通)
 FAX : 03-5253-1678
 URL : <http://www.mlit.go.jp/pri/>
 Mail : anzen-pri@mlit.go.jp



安全に関する アンケート調査票

自動車版

この調査はあくまでも安全の向上に役立てるものであり、あなたの回答の良し悪しや人事評価などに使用するものではありません。
★「はじめに」 あなたの部門・階層等、該当する数字に○をつけて下さい。

■(階層)	■()	■()	■()	■()
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	8
9	9	9	9	9
10	10	10	10	10

「あなたの職場」について →あなたの感覚に最も近いものを 1つだけ えらんで該当する数字に○をつけて下さい。

但し、設問(問1～9)のうち、あなたの職場の業務内容に合致しない設問は、空欄にしてください。

但し、設問(問1～9)のうち、あなたの職場の業務内容に合致しない設問は、空欄にしてください。			1.全くあてはまらない	2.余りあてはまらない	3.どちらとも言えない	4.多少あてはまる	5.非常によくあてはまる
1	私の職場では、あいさつ、身だしなみ、マナーについて、日頃から繰り返して指導がされている。	1	1	2	3	4	5
2	私の職場では、日常業務(点検・整備など)の中で気づいたことが報告され、日々の改善に繋がっている。	2	1	2	3	4	5
3	私の職場では、始業や点呼時に、本人の状況をふまえて、親身になった指示・指導がされている。	3	1	2	3	4	5
4	私の職場では、終業や帰庫時に、本人の状態・現場の状況に関心をもって声かけ、報告が行われている。	4	1	2	3	4	5
5	私の職場では、朝礼・ミーティング等が工夫されており、気持ちの切り替えや安全意識向上に役立っている。	5	1	2	3	4	5
6	私の職場では、個人個人の日常生活や健康管理のあり方について、日頃から親身な指導が行われている。	6	1	2	3	4	5
7	私の職場では、賞罰は与えられるだけでなく、ルールの遵守や改善の取組に活かされている。	7	1	2	3	4	5
8	私の職場では、班活動やミーティングが、日常業務で役に立つように運営されている。	8	1	2	3	4	5
9	私の職場では、現場巡回・巡視などにより、現場の実態を把握した改善が行われている。	9	1	2	3	4	5

「あなた自身」について →あなたの感覚に最も近いものを 1つだけ えらんで該当する数字に○をつけて下さい。

			1.全くあてはまらない	2.余りあてはまらない	3.どちらとも言えない	4.多少あてはまる	5.非常によくあてはまる
10	私は、会社の安全に対する考えを、自分の言葉で説明することができる。	10	1	2	3	4	5
11	私は、安全に関して職場の達成すべき目標を言うことができる。	11	1	2	3	4	5
12	私は、安全目標を達成するために、具体的な行動計画を設定している。	12	1	2	3	4	5
13	私は、問12で設定した行動計画を、責任を持ってやり遂げている。	13	1	2	3	4	5
14	私は、仕事のやり方が、どうすれば より良くなるかを、いつも考えている。	14	1	2	3	4	5
15	私は、目標に対する結果を真剣に振り返り、すぐ実行できることを決めて取り組んでいる。	15	1	2	3	4	5
16	私は、社内の手順書・SOP(マニュアル等)やデータを、有効に活用している。	16	1	2	3	4	5
17	私は、気軽に周囲へ声をかけて、どんな人とも良く話し合い、明るく話ができる。	17	1	2	3	4	5
18	私は、何かあれば、どんな人ともよく話し合い、大勢の意見をまとめて、物事をすすめている。	18	1	2	3	4	5
19	私は、他部門や他の職種の人に対して、いろいろと気を配っている。	19	1	2	3	4	5
20	私は、職場で、常に全体を考え、他部門の人とも相談や意見交換をしている。	20	1	2	3	4	5
21	私は、安全について、思ったことや気づいたことを、堂々と口に出して言える。	21	1	2	3	4	5
22	私は、悪い情報であっても、適切かつ迅速に、報告・連絡・相談を行っている。	22	1	2	3	4	5
23	私は、職場で、上役とよく対話をし、互いの考え方を理解している。	23	1	2	3	4	5
24	私は、疲労の蓄積等、健康面のことについて、上役から声をかけてもらっている。	24	1	2	3	4	5
25	私は、家庭や職場で悩んでいることについて、気兼ねなく相談できる相手が職場内にいる。	25	1	2	3	4	5

【裏面もご回答ください】

「あなた自身」について →左の項目をみて、あなたの印象に最も近い言葉を、1つだけ えらんで該当する数字に○をつけて下さい。

26	「健康」	1. ぐあいが悪い	2. からだ	3. 規則正しい生活	4. ありがたい	5. 不摂生
27	「あいさつ」	1. しない	2. 礼儀	3. つきあいで	4. ていねいに	5. 気持ちが通じ合う
28	「約束」	1. きゆうくつ	2. 大切	3. 時間	4. 気にしない	5. 厳守
29	「終業」	1. 帰宅	2. 早く終われ	3. ほっとする	4. 待ち遠しい	5. 満足感
30	「仕事」	1. やりがいがある	2. 仕方がない	3. 生活	4. 楽なものをえらぶ	5. まじめに
31	「上役」	1. 管理者	2. きゆうくつ	3. 礼儀	4. 尊敬	5. うるさい
32	「車両・機材」	1. 大切に	2. 業務	3. 活かして使う	4. 故障	5. 危険
33	「先輩」	1. ありがたい	2. 頼もしい	3. けむたい	4. いばっている	5. 後輩
34	「職場仲間」	1. 適当に	2. 同僚	3. 楽しい	4. チームワーク	5. いやだ
35	「計画」	1. 苦手	2. やりとおす	3. できやしない	4. 将来	5. めんみつ
36	「会議・会合」	1. 誠実に	2. だらだら	3. くだらない	4. 意思統一	5. 議題
37	「部下」	1. 信頼	2. たよりない	3. 指導	4. 生意気	5. 上役
38	「報告」	1. めんどくさい	2. しづらい	3. 進んで	4. 相手のために	5. 書類
39	「出勤」	1. またか	2. やるぞ	3. 早めに	4. 仕事	5. つらい

「あなたの職場」について →あなたの感覚に最も近いものを 1つだけ えらんで該当する数字に○をつけて下さい。

但し、設問(問40～48)のうち、あなたの職場の業務内容に合致しない設問は、空欄にしてください。			1.全くあてはまらない	2.余りあてはまらない	3.どちらとも言えない	4.多少あてはまる	5.非常によくあてはまる
40	私の職場では、会社の安全に対する考えを理解し、共に取り組んでいくことを、約束してもらったうえで採用している。	40	1	2	3	4	5
41	私の職場では、経営者層が自ら採用に関わっている。	41	1	2	3	4	5
42	私の職場では、実際の安全に役立つよう、新人教育に力を入れている。	42	1	2	3	4	5
43	私の職場では、知識や技能を継続的に維持向上できる教育・訓練が行われている。	43	1	2	3	4	5
44	私の職場では、主任・リーダーやその候補者に対し、周りをまとめていくリーダーシップが身につくような育成をしている。	44	1	2	3	4	5
45	私の職場では、高い知識や技能を持つ指導者による指導やアドバイスが、業務に役に立っている。	45	1	2	3	4	5
46	私の職場では、事故が起きてしまった場合、個人の問題ではなく組織全体の問題と捉え、安全管理体制や教育訓練の見直しにも取り組んでいる。	46	1	2	3	4	5
47	私の職場では、ヒヤリハットの分析・情報共有や危険予知訓練が、普段の仕事に非常に役立っている。	47	1	2	3	4	5
48	私の職場では、現場の声を聞いて、事故・災害発生時の対応手順を見直している。	48	1	2	3	4	5

「あなたの会社」について →あなたの感覚に最も近いものを 1つだけ えらんで該当する数字に○をつけて下さい。

			1.全くあてはまらない	2.余りあてはまらない	3.どちらとも言えない	4.多少あてはまる	5.非常によくあてはまる
49	私の会社は、従業員への満足度向上や社会貢献に、積極的に取り組んでいる。	49	1	2	3	4	5
50	私の会社では、効率や利益よりも、法や規則を守ることが優先されている。	50	1	2	3	4	5
51	私の会社では、経営者層が、健康管理や挨拶、整理・整頓・清掃に、率先して取り組んでいる。	51	1	2	3	4	5
52	私の会社では、現場だけで解決が難しい問題があれば、経営者層がすぐに対応している。	52	1	2	3	4	5
53	私の会社では、安全の方針や目標に向かって、一人一人の意識や行動が変わってきている。	53	1	2	3	4	5
54	私の会社では、管理者の人材育成が重視され、熱心に教育や指導が行われている。	54	1	2	3	4	5
55	私の会社では、経営者層が、日々の現場の情報に敏感である。	55	1	2	3	4	5
56	私の会社では、経営者層が 社会からの要請や周囲の声を経営に活かしている。	56	1	2	3	4	5
57	私の会社では、経営者層が、安全に関する講演・発表・研修などの場を積極的につくって、私たちに自らの考え、意見を伝えている。	57	1	2	3	4	5
58	私の会社では、経営者層と現場が安全に関して直接的に話し合う機会を積極的にもっている。	58	1	2	3	4	5

ご協力ありがとうございました。